



# 第5回 国際フォーラム

## ～「被災地」から「復興知」へ～

Living in Disaster Affected Areas gives Living Sapience

2018

10/11 Thu 12 Fri 13 Sat 14 Sun

※日程・内容は変更になる場合があります

テーマ	概要	日程/会場
●オープニングセッション 「地域振興におけるメディア活用」	三春町のアニメーション制作会社である株式会社福島ガイナの代表 浅尾芳宣氏によるメディアを活用した地域振興に関する講演。	11日(木) 11:00～12:30 公民館2階 大会議室
広野ドキュメンタリー映画初公開	震災後の広野町を舞台に住民のいとなみを撮影したドキュメンタリー映画を監督のご厚意で一般公開前に広野町でいち早く公開する。	11日(木) 13:30～15:30 公民館2階 大会議室
浜通り地域の潜在能力を語る	遠藤氏(広野町長)、浅尾氏(福島ガイナ)、若松氏(参議院議員)、丹野氏(ふたば未来学園校長)、福迫氏(東日本国際大学)によるトークセッション。	16:00～17:00 公民館2階 大会議室
廃炉について語り合う	NDF(原子力損害賠償・廃炉等支援機構)理事長 山名元氏が福島第一原子力発電所の廃炉について住民と直接語り合う。	10:00～11:30 公民館2階 大会議室
童謡のまち 広野	「とんぼのめがね」の舞台である広野町での童謡によるまちづくりについて、作曲家・(一社)日本童謡協会常任理事 伊藤幹翁氏が講演する。	11:30～12:30 公民館2階 大会議室
●基調講演 「駅前の本屋さんができること」	震災後南相馬に移住し書店を営む芥川賞作家 柳美里氏による、これまでの地域との関わりと今後の展望について語るトークセッション。	12日(金) 13:30～15:00 公民館2階 大会議室
ふたば未来学園による演劇	ふたば未来学園演劇部による演劇発表。完全新作。未発表。内容は当日発表。	15:30～17:00 公民館2階 大会議室
①農作業における放射線対策と健康 ②わかりやすい鳥獣被害対策	地域農業者・住民を対象としたわかりやすい解説。 ① 福島県除染アドバイザー 石田順一郎氏 ② 福島県農業総合センター 小野司氏	15:30～17:00 公民館2階 小会議室
作業員との共生	熊本学園大学 高木享氏、広野町在住経営者、広野町役場職員、作業員によるトークセッション。	10:00～12:00 公民館2階 大会議室
第24回ひろの童謡まつり	童謡誕生100年の記念すべき年となる本年は、童謡のまち宣言、一般公募による童謡作詩コンクールにより広野から新しい童謡が誕生する。また、町内外の団体や童謡歌手が童謡・唱歌を歌う他、広野から生まれた童謡を披露する。	13日(土) 13:30～16:00 体育館 アリーナ
芸術文化を通じた連携と地域振興	越後妻有、愛知、福島外各地で開催されている芸術祭の事例を参考に、芸術文化を通じた地域振興策、地元の協力と連携、承継の工夫、浜通り地域の可能性についての関係者によるトークセッション。	9:30～11:00 公民館2階 大会議室
広野中学生海外研修報告会 ～異文化体験を通して～	広野中学生が経験した1週間のカナダ滞在について、グループディスカッションを行い、変化した価値観・考え方について発表する。	11:00～12:30 公民館2階 大会議室
東京大学アイソトープ総合センター 放射性同位元素測定による環境評価研究	東京大学アイソトープ総合センターが企画するセッションで、和歌山大学の井伊教授を迎え、蟬の抜け殻に蓄積する放射性同位元素を測定することで環境評価ができる研究内容を紹介。	14日(日) 14:30～16:00 体育館2階ミーティングルーム
ふたば未来学園 未来創造探究 研究発表	未来学園の3年生が双葉郡をフィールドとして実施した研究の成果を探究班から発表する。	13:30～14:30 公民館2階 大会議室
地域振興におけるスポーツ活用	Jヴィレッジ運営者、元Jリーグ、アマチュアスポーツ愛好家が会して、Jヴィレッジ再開、ラグビーワールドカップやオリパラ開催を見越した地域振興活用について語り合う。	14:30～16:00 公民館2階 大会議室
《サイドイベント》		
広野中学生の映像作品放映	広野中学校の映像教育による作品を放映する。	常設 公民館1階 研修室1
広野火力発電所・IGCC紹介	東京電力広野火力発電所と敷地内に建設中の最新発電設備IGCC(石炭ガス化複合発電)に関する説明展示。	常設 公民館1階 研修室1
全国支援職員の自治体紹介	広野町に支援のため派遣されている職員の派遣元自治体の紹介パンフやポスター展示など。	常設 公民館2階 大会議室
広野町へのリクエスト	付箋に意見・要望を書いて、匿名で貼ってもらおう。例えば、駅前に本屋が欲しい。ハンバーガースタンドが欲しい。常盤線を増やして欲しい。新幹線が欲しい。など。	常設 公民館 エントランス
広野町の戊辰戦争	今年は戊辰戦争から150年の節目の年であり、戦の舞台となった広野町の歴史をパネルにて紹介する。	常設 公民館 エントランス
東京オリンピック スポーツ報道写真展1964	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、1964年に開催した東京オリンピックの写真展示を行う。	常設 公民館 エントランス
呈茶席	広野町裏千家同門による呈茶席。国際フォーラムオープニング当日限定。	11日(木) 12:00～15:00 公民館 エントランス
《交流イベント》		
ふたば未来学園 農業・商業 実習販売	農業グループはお菓子、商業グループは浜通り高校生作の商品を販売する。	12日(金) 13日(土) 11:00～14:00 公民館 エントランス
食品販売	社団法人友愛会「ワークセンターさくら」による、こんにやく、加工味噌等の販売。	13日(土) 11:00～14:00 公民館 エントランス
雑貨販売	岬学園によるピースアクセサリ等の雑貨販売。	13日(土) 11:00～14:00 公民館 エントランス
《クロージング》14日(日) 16:00～		

福島県広野町

# 第5回 国際フォーラム

## ～「被災地」から「復興知」へ～

Living in Disaster Affected Areas gives Living Sapience



被災から7年が経ち、復興に至る過程で私たちが失い、培い、獲得した社会的かつ自然科学的英知、知識、知恵、経験知から出来あがった「復興知」こそが次代に伝えるべき価値であると我々は考えます。本年は、価値を伝える広域的な連携と効果的な発信手段(映画、音楽、小説、演劇、アニメなど)に焦点を合わせて、参加者の皆様と考えていきます。



2018  
10/11(木)・12(金)・13(土)・14(日)

開催場所: 広野町公民館及び周辺



開会式 & オープニングセッション

10月11日(木)10時～  
「地域振興におけるメディア活用」  
福島さくら遊学舎(株式会社福島ガイナ)  
代表取締役 浅尾芳宣氏



基調講演

10月12日(金)13時30分～  
「駅前の本屋さんができること」  
芥川賞作家(小高地区書店 フルハウス店長)  
柳美里氏

各種セッション&サイドイベント

10月11日(木)～14日(日)  
クロージング  
10月14日(日)16時～

主催: 広野町  
共催: 学校法人昌平堂 東日本国際大学、学校法人 熊本学園大学、株式会社Jヴィレッジ  
後援: 復興庁福島復興局、福島県、双葉地方町村会、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、一般社団法人日本童謡協会  
協力: 株式会社福島ガイナ、書店フルハウス 事務局: 広野町復興企画課 TEL.0240-27-1251

http://www.town.hirono.fukushima.jp 詳細については

